



ARATANO HIGHSCHOOL
KATEI CLUB

新野高校家庭クラブ新聞

(H28 夏休みの活動報告号)



1 全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座

平成28年7月21日(木)～22日(金)

国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)にて

会長の岡田彩沙妃さんと副会長の岩田有咲さんが参加し、全国のクラブ員と交流しながら多くのことを学びました。話し合いのテーマは『日本(ここ)でも世界(そこ)でも、みんながつながる学校家庭クラブ活動』でした。

参加者から出された意見は

- ①学校でできること；幼稚園や保育所を訪問し子どもに遊びを教える、物資の回収をして換金やワクチンに交換し海外支援を行う、不要になった文具等や衣類を集めて海外の貧困地区へ贈る。
 - ②地域でできること；換金やワクチン交換のための物資の回収の呼びかけ、行事に参加し地域の活性化・伝統を知る。
 - ③全国でできること；日本に住んでいる外国人と交流し他国の文化を学び伝える、募金・物資の回収活動。
- 私たちは新野高校で実践している「鉛筆を回収して海外の子どもたちへ贈る活動」を報告しました。全国のクラブ員の意見を聞いてやってみたい活動をたくさん見つけることができました。



2 四国地区高等学校家庭クラブ研究発表大会

平成28年7月26日(火) あわぎんホール(徳島市)にて

参加者；2年生 岩田有咲さん、岡田彩沙妃さん、渡邊ひなさん

1年生 泉日菜さん、勘田るかさん、鳴滝温生君

四国各県代表校の学校家庭クラブ活動、ホームプロジェクト活動の実践報告でした。震災後、防災に関する研究や実践が多く日常生活に役立つ知識を得ると共に同じ高校生の仲間がこんなに素晴らしい研究・発表ができるのかと感動しました。昼食時の徳島商業高校吹奏楽部のアトラクションも迫力があり楽しい時間を過ごすことができました。



3 全国高等学校家庭クラブ研究発表大会福島大会

平成28年8月3日(水)～6日(土) 郡山市民文化センター(福島県)にて

岡田彩沙妃さん、岩田有咲さんが参加し、全国の各ブロック代表校の学校家庭クラブ活動、ホームプロジェクト活動の実践報告を聞きました。防災や地域の伝統、家族の健康等の内容の発表がありました。全国大会ということでどの研究・発表も完成度の高いものでしたが、中でも非常時の簡易トイレに関する研究が、身近なもの(ネコ砂や尿取りパッドなど)を使いながら、繰り返しの実験を行いその結果を丹念に分析するなど非常に専門性の高い内容で印象に残りました。また生徒交流会では5年前の東日本大震災時の被害状況、復興までのあゆみ、全国からの支援についてクラブ員の視点で報告されました。福島県のクラブ員のたくましい復興活動と全国のクラブ員との絆に感動しました。熊本地震の被災地へのメッセージも発信されました。今大会のスローガン「福島で結んだ絆はなさずに ありがとうを全国へ」の言葉を実感しました。福島県内のクラブ員によるオープニングの心が洗われるような美しいハーモニーの合唱やアトラクションの優雅でありながらも高校生らしい元気なフラダンスに感激しました。同じ高校生のパワーに感動と勇気もらった二日間でした。



4 徳島県高等学校家庭クラブリーダー研修会

平成28年8月18日(木) とくぎんトモニプラザ(徳島市)にて

岡田彩沙妃さん、岩田有咲さんが参加し、7月の全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座の参加報告を行いました。また、稲富妙子先生による「楽しいカード作り」の研修が行われ、マスキングテープを使ったカードの作り方を教わり、その後、一人ずつそれぞれ好きなデザインをうちわに貼り付けました。便利で可愛いマスキングテープをこれからどんどん使ってみたいです。



5 新高祭に向けたバザーの準備



8月16日から18日の3日間、1年生から3年生までのクラブ員が参加し、新高祭のバザーで販売する小物(バッグ、ティッシュペーパーカバー、トイレトペーパーホルダー)作りを行いました。暑い被服室で苦しい作業でしたが仕上がっていく過程は嬉しかったです。

10月2日の新高祭模擬店でクラブ員が販売しました。

買ってくださった皆様、ありがとうございました。



**引き続き…手話コーラスに参加してくれる人を募集しています！！
鉛筆の寄付もお願いします！！**

